2018 年日本国内及び日系海外のボンド磁石生産・需要動向

企画委員長
㈱メイト
石田　知久

2018 年の日本国内におけるボンド磁石の生産は、フレキシブルではサーバー用ファンモータの需要が昨年同様伸長。また磁気センサやマグネットシートも堅調に推移した。リジッドではエアコン関係の需要が比較的堅調に推移した。また、希土類では車載関係で継続的に需要が増大しており、全体で重量、金額ともに前年比２％増と推定した。日系海外における生産は、フェライトでは前半好調だったサーバー用ファンモータやマグネットシート、エアコン関係が後半失速。全体で前年比１％増にとどまった。対して希土類では、米中貿易摩擦の影響、中国国内の景気不振から、全体金額で前年比４％減と推定した。

分野別動向

1. フレキシブルフェライトボンド磁石

フレキシブルボンド磁石は、工業部品として各種小型モータ、磁気センサ、マグロール等に使用されている。また雑貨関係では、文具、ノベルティー、サイン関係に広く応用されているマグネットシートが主力製品である。

2018 年の国内生産は前年比 5% 増の 3,570 トン、金額は前年比 4% 増の 25 億円と推定する。

工業部品に於いては、情報通信分野における各データセンターに設置されるサーバー用ファンモータが近年伸長している用途であり、かつてメインであったパソコン用ファンモータを凌ぐ勢いで伸びている。また堅調な設備投資に支えられ、工場内自動搬送機や各種機械に使用されるシリンダー用磁気センサ等が伸長している。マグネットシート関連に於いても、各分野で様々なアイデア商品が開発され当該市場としても堅調に推移している。日系企業の海外生産は前年比横ばいの 17 億円と推定した。

2. リジッドフェライトボンド磁石

2018 年の国内生産は重量、金額ともに前年比 2% 増の 7,500 トン、115 億円と推定する。主要市場であるマグロール市場は、上半期好調だったものの下半期は伸び悩み、前年比ほぼ横ばいと思われる。家電関係では、エアコンの出荷台数に比例して室外機ファンモータ等が好調。リジッドフェライトの需要は堅調と思われる。日系メーカーの海外生産は国内生産に比例して前年比１％増の 92 億円と推定した。

3. 希土類ボンド磁石

2018 年の国内生産は 1,570t と推定する。内訳は等方性 MQP が 670t、Sm-Fe-N は 500t 弱で HDDR 約 400t となる。用途としては車載用の小型アクチュエータ・センサ用が中心で、新規開発も活発な動きが認められる。また、ロボットをはじめとする産業機器用途需要も堅調である。金額については 307 億円と推定する。日系メーカーの海外生産は米中貿易摩擦の影響が後半みたれたため、前年比 4% 減の 570 億円と推定した。

【フレキシブルフェライトボンド】

	生産量（トン / 年）	前年比	生産金額（百万円 / 年）	前年比
2015 年	3,240	100%	2,300	100%
2016 年	3,240	100%	2,300	100%
2017 年	3,400	105%	2,400	104%
2018 年	3,570	105%	2500	104%

【リジッドフェライトボンド】

	生産量（トン / 年）	前年比	生産金額（百万円 / 年）	前年比
2015 年	6,730	90%	10,400	90%
2016 年	6,800	101%	10,500	101%
2017 年	7,340	108%	11,300	108%
2018 年	7,500	102%	11,500	102%

【希土類ボンド】

	生産量（トン / 年）	前年比	生産金額（百万円 / 年）	前年比
2015 年	1,400	112%	27,400	112%
2016 年	1,150	82%	22,500	82%
2017 年	1,540	134%	30,140	134%
2018 年	1,570	102%	30,700	102%

【日系メーカーの海外生産金額】　　単位　：百万円

	フレキシブル	リジッド	希土類	合計
2015 年	1,100	8,500	50,000	59,600
2016 年	1,100	8,600	55,000	64,700
2017 年	1,700	9,100	60,500	71,300
2018 年	1,700	9,200	57,000	67,900